

西太平洋地球物理会議 (略称 WEPGEM: Western Pacific Geophysics Meeting) のお知らせ

1990年8月21日～25日に、金沢で上記研究会が開催されます。この会議は、米国地球物理学連合 (AGU) が、関連する日本の学会と共催して、気象学を含む地球物理学の広い分野の研究発表を行うことを目的としています。AGU の会員でなくとも、AGU 会員と同じ参加費で参加できますので、奮って参加して下さい。気象学関係のシンポジウムも予定していますが、テーマなど詳細は未定です。気象学会から、WEPGEM 組織委員として浅井富雄会員、プログラム委員として木村竜治会員

が参加していますので、御質問、御意見をお寄せ下さい (連絡先 東京大学海洋研究所 03-376-1251)。研究発表の締切りは1990年初めの予定です。シンポジウムのテーマは今年の夏に決定される予定です。なお、日本の WEPGEM 組織委員長は木村磐根氏 (京大工学部) で、関連学会は次の通りです。

地震学会、海洋学会、火山学会、気象学会、測地学会、地質学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、(陸水水文グループ)

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第67巻 第1号 1989年2月

G. Tonna: 霧粒分布 239 例を用いた霧の雲物理的性質と光学的特性の研究

岩崎俊樹・山田慎一・多田一正: 二種類の鉛直配分を考える地形性重力波ドラッグのパラメタリゼーション 第一部: 中期予報に対する効果

岩崎俊樹・山田慎一・多田一正: 二種類の鉛直配分を考える地形性重力波ドラッグのパラメタリゼーション 第二部: TEM 法による経度平均場の解析

津田敏隆・加藤 進: 海陸分布に起因する差分熱源による太陽に同期しない一日周期大気潮汐波の数値計算の研究

秋山孝子: 1982年7月の梅雨前線の大規模・総観規模および中規模の変動

Part I: 雲変動の様相

二宮光三: 冬期 日本海・北西太平洋の Polar/Comma-Cloud Low

大畑哲夫: 融解している雪氷面上での斜面下降風 (I)

——大規模海洋性氷河の安定な氷河風

大畑哲夫: 融解している雪氷面上での斜面下降風 (II)

——理論モデルの応用

山崎孝治: 土壌水分及び地表面アルベドの変化が気候に及ぼす影響の研究

——MRI・GCM による数値実験

大和政彦・小野 晃: 圏界面の折れ込み付近で採集された成層圏エアロゾル粒子の化学的物理的性質

要報と質疑

住 明正: MU レーダーで観測された対流圏下層の風の短周期変動